

全国農業共済組合連合会会長理事 殿

申請者 住所
氏 名

〔 法人にあっては、名称及び代表者の氏名 〕 印

[illegible]

☐ なお、本申告による収入金額に基づき計算される、☐保険金、☐特約補填金を請求するので「(2)収入減少要因及び保険事故防止の取組状況」とお同一申告します。

☐ なお、本申告による収入金額に基づき計算される、☐保険金、☐特約補填金の請求を予定しているので「(2)収入減少要因及び保険事故防止の取組状況」とお同一申告します。

☐ なお、保険金・特約補填金の請求をしません。

※該当する□に✓を記入してください。

(1) 農業収入金額の計算

(単位:数量はkg等、単価は円/kg等、金額は円)

[illegible]

(2)収入減少要因及び保険事故防止の取組状況

農産物又は畜産物			収入減少要因	要因発生理由		事故発生通知	確認事項	
種類	品目	用途						
			☐ 数量減少 ※品質低下含む	☐ 気象災害		通知した ☐	! 事故発生通知前後の取組内容がある場合は、該当欄に記入願います。	
				☐ 病虫害			☐ 実施した ☐ 実施しなかった	
				☐ 鳥獣害			☐ 実施した ☐ 実施しなかった	
				☐ その他				
			☐ 価格低下	☐ 豊作による需給の緩和		/	☐ 意図的な値下げを行っていませんか。 (主な取引先:)	☐ 行っていない ☐ 行った
				☐ 取引先からの要望				
				☐ 為替変動				
				☐ その他				
			☐ 数量減少 ※品質低下含む	☐ 気象災害		通知した ☐	! 事故発生通知前後の取組内容がある場合は、該当欄に記入願います。	
				☐ 病虫害			☐ 実施した ☐ 実施しなかった	
				☐ 鳥獣害			☐ 実施した ☐ 実施しなかった	
				☐ その他				
			☐ 価格低下	☐ 豊作による需給の緩和		/	☐ 意図的な値下げを行っていませんか。 (主な取引先:)	☐ 行っていない ☐ 行った
				☐ 取引先からの要望				
				☐ 為替変動				
				☐ その他				
			☐ 数量減少 ※品質低下含む	☐ 気象災害		通知した ☐	! 事故発生通知前後の取組内容がある場合は、該当欄に記入願います。	
				☐ 病虫害			☐ 実施した ☐ 実施しなかった	
				☐ 鳥獣害			☐ 実施した ☐ 実施しなかった	
				☐ その他				
			☐ 価格低下	☐ 豊作による需給の緩和		/	☐ 意図的な値下げを行っていませんか。 (主な取引先:)	☐ 行っていない ☐ 行った
				☐ 取引先からの要望				
				☐ 為替変動				
				☐ その他				

<記入上の注意>

(1) 農業収入金額の計算

1. 「農産物又は畜産物」欄は、「農業経営に関する計画」(様式4号)の「(2) 保険期間の営農計画に基づく保険期間中に見込まれる農業収入金額」(以下「様式4号の(2)」といいます。)に記入した、農産物又は畜産物の種類、品目等と同じ内容を記入します。
2. 「期首棚卸高」及び「期末棚卸高」の「在庫数量」欄は、棚卸表に基づいて実績を記入します。「販売単価」欄は、様式4号の(2)に記入した単価と同額を記入します。なお、畜産物など、税申告上棚卸しが無いものや、育成中の果樹や圃場にある農産物などの「農産物以外の棚卸高」「仕掛品棚卸高」については、記入する必要はありません。
3. 「販売金額」欄は「対象農産物等の種類ごとの販売金額を整理するための補助フォーム(農業所得用)」(様式3号の1)又は「対象農産物等の種類ごとの販売金額を整理するための補助フォーム(一般・法人用)」(様式3号の2)で整理した保険期間の対象農産物等ごとの「収入金額として申告する販売金額」に記入した金額と同額を記入します。
4. 「見込農業収入金額」欄は、様式4号の(2)の「見込農業収入金額」欄に記入した金額と同額を記入します。
5. 「事業消費金額」欄は、被保険者が生産した対象農産物等のうち保険期間に事業用消費に充てたものの種類ごとの数量に、様式4号の(2)に記入した見込事業消費単価を乗じて得た金額を記入します。
6. 「家事消費金額」欄は、被保険者が生産した対象農産物等のうち保険期間に家事消費に充てたものの種類ごとの数量に、様式4号の(2)に記入した見込単価を乗じて得た金額を記入します。

(2) 収入減少要因及び保険事故防止の取組状況

1. 保険金、特約補填金を請求する又は請求を予定している場合は、保険期間の農業収入金額と保険期間の見込農業収入金額を比較して、加入申請時に選択した補償限度の割合を下回っている農産物又は畜産物等ごとに、「収入減少要因」欄、「要因発生理由」欄、「事故発生通知」欄及び「確認事項」欄を記入します。
2. 「事故発生通知」欄は、「収入減少要因」欄が「数量減少」であり、事故発生の通知を行っていた場合は□に✓を記入します。
3. 「確認事項」欄は、「事故発生等通知書」(様式10号)において、「○ 保険事故防止の取組内容」欄や「○ 事故発生後に行う保険事故防止の取組内容」欄において取組内容を申告している場合や、「全国連合会の指導事項」欄において全国連合会からの指導事項が記入されている場合は、取組内容を転記し、取組の実施状況、遵守状況について該当する□に✓を記入します。
例えば、病気や怪我により収入減少が発生した場合は、「要因発生理由」欄の「その他」欄の□に✓を記入し、「病気・怪我」と記入します。事故発生の通知を行っている場合は「事故発生通知」欄の□に✓を記入します。また、他の農業者への作業委託など労働力の確保に努めた取組など、事故発生の通知の際に申告した取組内容や、全国連合会からの指導事項があった場合はそれを記入し、申告事項の実施状況、指導事項の遵守状況について、該当するものの□に✓を記入します。
4. 「収入減少要因」欄が「価格低下」であった場合の「確認事項」欄の「意図的な値下げ」とは、取引先と示し合わせ、販売金額とは別名目で金額を受け取るなどを行った場合をいいます。
5. 「事故発生通知」欄、「確認事項」欄等に虚偽の記入が判明した場合のほか、保険事故防止の取組を実施していなかった等の場合は保険金、特約補填金の支払ができなくなることがあります。